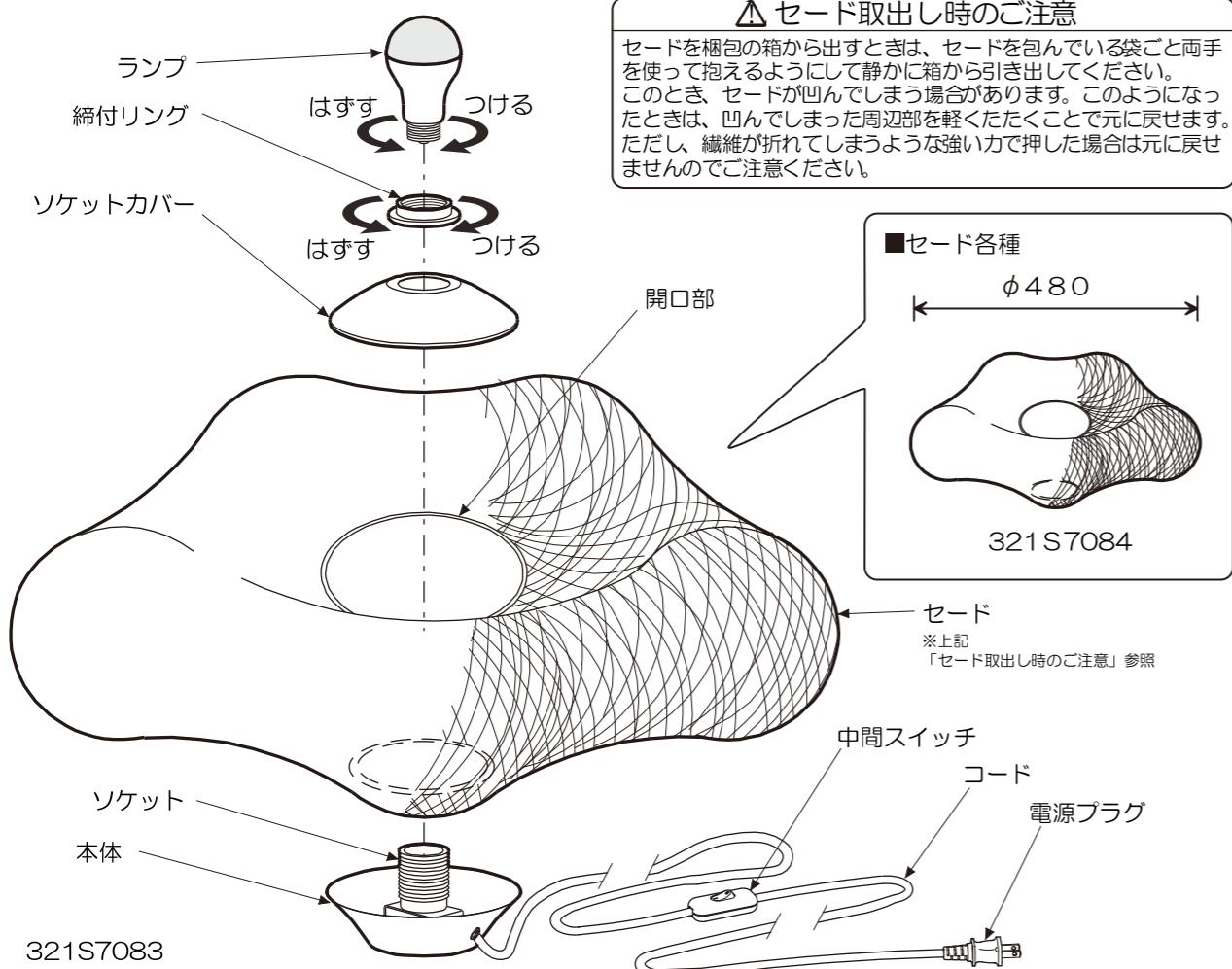


321S7083/321S7084 部品名称と取付方法

イラストは、器具を一部省略してあらわしたものです



組立方法

①セードを本体に取付ける

- ・締付リングをソケットからはずしてください。
- ・ソケットカバーを本体からはずしてください。
- ・セードを本体に合わせてください。
- ・ソケットカバーをセードの開口部から入れて、セードの底を本体ではさみ込むように合わせてください。
- ・締め付けリングをソケットにねじ込みソケットカバーを固定してください。

②ランプをソケットに取り付ける

- ・ランプをソケットに確実にねじ込んでください。
- ・ゆるみ・ガタ等がないようにソケットの奥までねじ込んでください。
- ・不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

③電源プラグをコンセントに差す

- ・不完全な差込みは、漏電・火災等の原因となります。
- ・ランプの点灯・消灯は、中間スイッチで行うことができます。

ランプの交換方法



注意 必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因になります。

●表示に従って、定格表に記載したランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用しますと**火災の原因**となります。

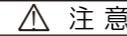
●点灯中・消灯直後のランプは高温になっています。

手を触れないでください。**やけどの原因**になります。

●ゆるみ・ガタ等がないよう、ソケットの奥までねじ込んでください。不備がありますと、**火災・感電・不点灯の原因**となります。

手順

●セードの開口部から手を入れて、ランプを交換してください。



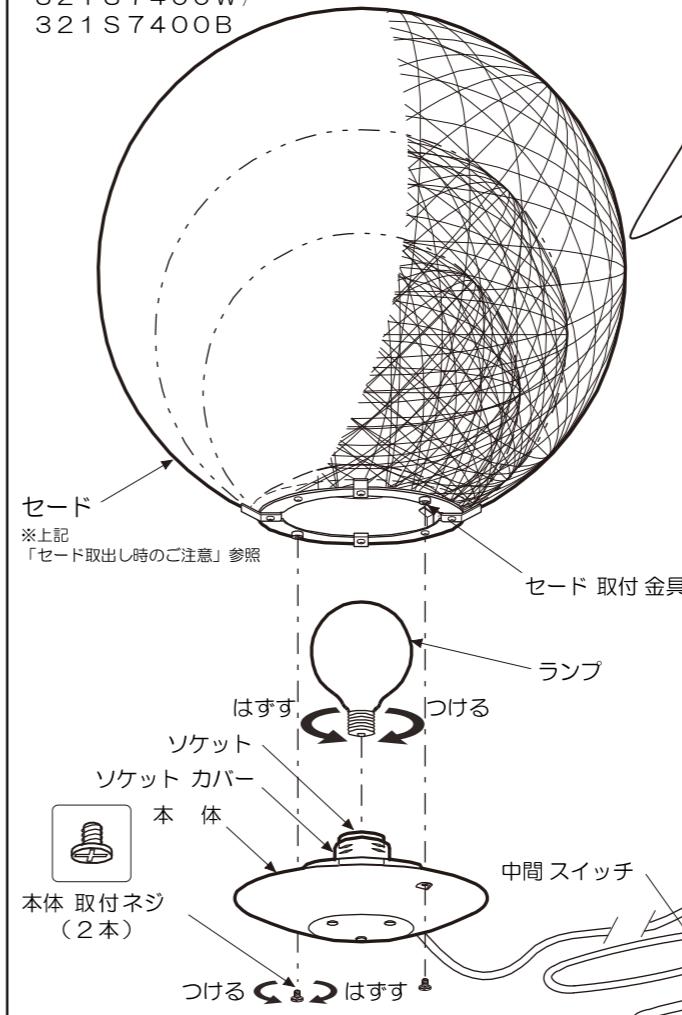
●この器具のセードは、ファイバーを特殊な加工することによって形成されていますので、大変繊細になっています。この上に物を置いたり、強い力で押しつけたりすると変形する原因となります。このファイバーは、一度折れてしまうと元には戻りませんので、取扱いには十分に注意してください。

●点灯中のランプには、絶対に触れないでください。**やけどの原因**になります。

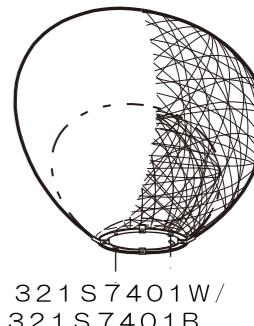
321S7400W/B・321S7401W/B・321S7402W/B・321S7403W/B 部品名称と取付方法

イラストは、器具を一部省略してあらわしたものです

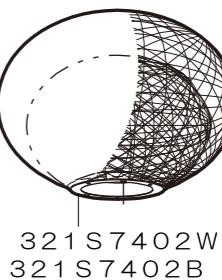
321S7400W/
321S7400B



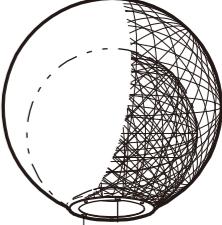
セード各種



321S7401W/
321S7401B



321S7402W/
321S7402B

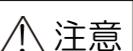


321S7403W/
321S7403B

セード 取出し時の注意

セードを梱包の箱から出すときは、セードを包んでいる袋ごと両手を使って抱えるようにして静かに箱から引き出してください。このとき、セードが凹んでしまう場合があります。このようになつたときは、凹んでしまった周辺部を軽くたたくことで元に戻せます。ただし、繊維が折れてしまうような強い力で押した場合は元に戻せませんのでご注意ください。

ランプの交換方法



注意 必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因になります。

●表示に従って、定格表に記載したランプを必ずご使用ください。指定以外のランプを使用しますと**火災の原因**となります。

●点灯中・消灯直後のランプは高温になっています。

手を触れないでください。**やけどの原因**になります。

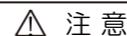
●ゆるみ・ガタ等がないよう、ソケットの奥までねじ込んでください。不備がありますと、**火災・感電・不点灯の原因**となります。

手順

1) 本体の底に固定してある本体取付ネジ（2本）をゆるめると本体からセードがはずれます。

2) ランプを交換してください。

3) 組立方法を参考にして、セードを本体に取付けてください。



●この器具のセードは、ファイバーを特殊な加工することによって形成されていますので、大変繊細になっています。この上に物を置いたり、強い力で押しつけたりすると変形する原因となります。このファイバーは、一度折れてしまうと元には戻りませんので、取扱いには十分に注意してください。

●点灯中のランプには、絶対に触れないでください。**やけどの原因**になります。

凹んだセードの直し方

MAYUHANAのセードは非常に繊細な風合いを出す樹脂とグラスファイバーで出来ています。外側からの圧力に非常に弱く凹みが出来てしまう可能性があります。しかし鍵状のワイヤーを用いて凹みを元に戻すことが出来ます。（写真②～③）

写真 1



用意するモノ ①鍵状の針金或いはピンセット
②ドライヤー

写真 2



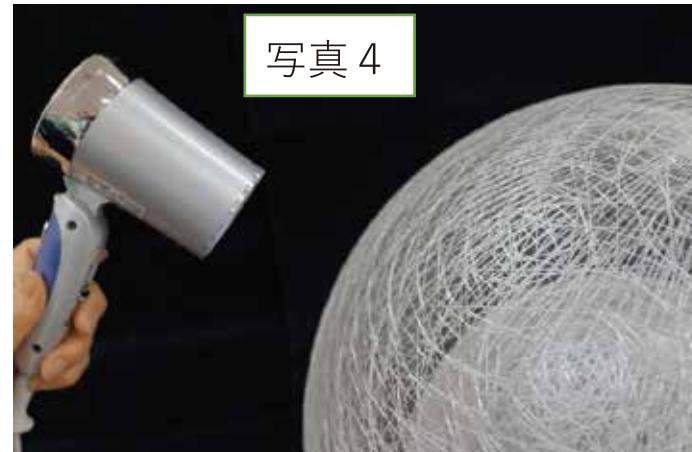
凹んだ中央部を針金或いはピンセットでつまむ。

写真 3



写真 3 の状態から軽く引っ張る。

写真 4



凹んだ状態が長く続いた場合、凹みが元に戻らない場合があります。この時は短い時間、セードから離し、凹んだ部分にドライヤーを吹き付けると元にもどすことが出来ます。

※注意 長い時間ドライヤーを吹き付けると変色・変形の恐れがあります。